

# EMC.D-PWF-OE-00.v2026-07-02.q62

試験コード：	D-PWF-OE-00
試験名称：	Dell PowerFlex Operate Exam
認証ベンダー：	EMC
無料問題の数：	62
バージョン：	v2026-07-02
ページの閲覧量：	102
問題集の閲覧量：	620

<https://www.jpnsiken.com/shiken/EMC.D-PWF-OE-00.v2026-07-02.q62.html>

## 質問: 1

PowerFlexでスナップショットを使用するメリットは何ですか？ (2つ選択してください。)

- A. 迅速なデータ復旧を可能にする
- B. クラスタ間の耐障害性を低減する
- C. ストレージ容量の使用を最小限に抑える
- D. データの特定時点のコピーを作成する

正解: ([正解を表示します](#))

\* 迅速なデータ復旧を有効にする (オプションA) スナップショットには「巻き戻し」ボタンがあります。午後2時にデータベースが破損したり、ファイルが誤って削除されたりした場合でも、管理者はボリュームを午後1時のスナップショットでキャプチャされた状態に即座に復元できます。

\* データの特定時点のコピーを作成する (オプションD) これはスナップショットの定義です。特定の秒時点でのデータビューを固定します。これはバックアップ (バックアップソフトウェアが静的スナップショットをバックアップする一方で、本番アプリケーションはライブボリュームへの書き込みを継続します) や、本番データのテスト/開発用クローンを作成する際に非常に重要です。

## 質問: 2

PowerFlexにおいて、ストレージボリュームをホストに提示する役割を担うコンポーネントはどれですか？

- A. SDS
- B. SDC
- C. MDM
- D. LIA

正解: ([正解を表示します](#))

ストレージデータクライアント (SDC) はホスト上で動作し、PowerFlexボリュームをブロックデバイスとして提示します。

SDSはストレージを管理し、MDMはクラスタ構成を管理します。

## 質問: 3

管理者は、SDCとSDS間の接続に関するトラブルシューティングを行う必要があります。最も適切な手順はどれですか？

- A. クラスタを再起動します
- B. ネットワーク接続とポートを確認する
- C. ボリュームを削除する
- D. OSを再インストールする

正解: ([正解を表示します](#))

接続の問題は通常、ネットワーク構成に関連しています。まずはポートと接続状況を確認することから始めましょう。

#### 質問: 4

障害分離とリソース管理のために、ストレージデータサーバー (SDS)ノードをグループ化するために使用される論理エンティティはどれですか？

- A. リソースグループ
- B. 故障セット
- C. 保護ドメイン
- D. ストレージプール

正解: ([正解を表示します](#))

保護ドメイン (PD)は、PowerFlexにおけるストレージノードの論理的な集約の最上位レベルです。

\* 障害分離：保護ドメインは、「障害発生時の 隔離された環境」として機能します。壊滅的な障害（例えば、特定のラックに影響を与える停電）が発生した場合、その影響はその保護ドメイン内に限定されます。データの複製と再構築は、PDの境界内で行われます。保護ドメイン1のSDSは、保護ドメイン2のSDSにデータをミラーリングすることはできません。

\* リソース管理：管理者は、クラスタのバランスを取るために、PD（保護ドメイン）レベルでリソースを管理します。たとえば、クラスタには、「高性能フラッシュ」ノード用の保護ドメインと、「大容量HDD」ノード用の保護ドメインがそれぞれ1つずつ存在する場合があります。

\* 差別化:

\* ストレージプールは、ディスクをグループ化するために保護ドメイン内に存在します。

\* 障害セットは保護ドメイン内に存在し、障害ゾーンをさらに細分化します（例：同ラック内のノード間でのミラーリングを防止する）。

#### 質問: 5

ストレージプールを構成するために必要な手順は何ですか？ 2つ選択してください。）

- A. 保護ドメインを定義する
- B. 性能特性が類似したドライブを割り当てる
- C. クラスタ間のレプリケーションを有効にする
- D. ストレージプールのVLANタグgingを設定します

正解: ([正解を表示します](#))

ストレージプールとは、物理デバイスの容量を集約する論理的なエンティティです。

\* 保護ドメインを定義する (オプションA) ストレージプールの階層構造は厳密です。まず、SDSノードをグループ化する保護ドメイン (PD)を作成する必要があります。ストレージプールは、その保護ドメイン内に作成されます。この親コンテナがないと、ストレージプールを作成することはできません。

\* パフォーマンス特性が類似したドライブを割り当てる (オプションB): これは重要な構成要件です。PowerFlex は、プール内のすべてのドライブにデータをストライピングします。同じプールに NVMe ドライブと SATA ドライブを混在させると、高速な NVMe ドライブが低速な SATA ドライブを待つことになり、プール全体のパフォーマンスが最低公約数まで低下します (「遅延」効果)。そのため、標準的な手順では、メディアの種類ごとに別のプールを作成します (たとえば、NVMe の場合は Performance\_Pool1、SATA の場合は Performance\_Pool2)。

HDD の Capacity\_Pool1)。

#### 質問: 6

クラスタ拡張時に新しいメタデータマネージャを構成する際の考慮事項は何ですか? (2つ選択してください。)

- A. クラスタ間のレプリケーションプロトコルを検証する
- B. メタデータストレージの冗長性を維持する
- C. メタデータがノード間で均等に分散されるようにする
- D. 新しいノードを既存の障害セットに割り当てます

正解: ([正解を表示します](#))

メタデータマネージャ (MDM) クラスタは、PowerFlexの重要な制御プレーンです。

\* メタデータストレージの冗長性を維持する (オプションD) MDMクラスタ (通常は3ノードまたは5ノード)は常にクォーラムを維持する必要があります。管理機能を再構成または拡張する場合は、ノード障害が発生してもクラスタ管理が停止しないように、十分な数のレプリカ (プライマリ、セカンダリ、タイブレーカー)が存在することを確認する必要があります。

\* 均等な分散を確保する (オプションA) ベストプラクティスでは、単一の物理的障害 (ラックの電源停止など)によって MDM クラスタ全体が同時にダウンするのを防ぐため、MDM の役割を異なる障害ドメイン (異なるラックまたはシャーシ)に分散させる必要があります。

誤った選択肢 :MDMは障害セット (C)には割り当てられません。障害セットはSDS用です。レプリケーションプロトコル (B)はデータ災害復旧に関連するものであり、ローカルクラスタMDMの拡張には関係ありません。

#### 質問: 7

PowerFlexクラスタに新しいノードを追加するには、どのような手順が必要ですか? (2つ選択してください。)

- A. 新しいノードのネットワーク接続を検証する
- B. ノードを既存の保護ドメインに割り当てる
- C. ノード上で重複排除と圧縮を有効にする
- D. ファームウェアとソフトウェアのバージョンを確認します

正解: **A,B** ([コメントを发表する](#))

ネットワーク接続の検証 (オプションA) ノードを追加する前に、管理ネットワークとデータネットワーク上で有効なIPアドレスを持ち、既存のMDMクラスタにアクセスできることを確認する必要があります。

これがないと、「ノードの追加」ウィザードは失敗します。

ノードを既存の保護ドメインに割り当てる (オプションB) : 追加処理中、この新しいノードが属するドメインをシステムに明示的に指定する必要があります。保護ドメイン (および必要に応じて障害セット)にノードを割り当てます。これにより、システムはデータミラーリングのためにどのノードとピアリングを行うべきかを認識します。

質問: 8

PowerFlexクラスタ間でボリュームを複製するために使用されるツールはどれですか？

- A. ボリュームマネージャー
- B. ストレージデータサーバー
- C. レプリケーションエンジン
- D. スナップショットスケジューラ

正解: ([正解を表示します](#))

PowerFlexは、専用のレプリケーションロジックを使用しており、概念的にはレプリケーションエンジンと呼ばれることが多い (技術的には、v3ではSDR ストレージデータレプリケーター)コンポーネントを介して実装され、v4ではSDSに統合されている)。

レプリケーションエンジン (オプションC) このコンポーネントは、レプリケートされたボリュームへの書き込みを傍受し、それらをバンドルして、非同期 (ジャーナルベース)でリモートの宛先クラスタに送信する役割を担います。ジャーナルボリュームを管理し、帯域幅の制限を処理し、ソースサイトとターゲットサイト間の一貫性を確保します。

質問: 9

PowerFlexの共有ファイルシステムでは、複数のノード間でデータを共有できます。

- A. 真
- B. 偽

正解: ([正解を表示します](#))

これはPowerFlex File (旧称PowerFlex NAS)を指します。

PowerFlexの中核製品はブロックストレージソリューション VMFSやOCFS2のようなクラスタファイルシステムなしでは2台の標準OSホスト間で安全に共有できない生のLUN/ボリュームを提供する)ですが、PowerFlex FileではNASノードが導入されています。これらのノードはブロックストレージをフォーマットし、NFSまたはSMBプロトコルを介して提供します。これらのプロトコルは、複数のクライアントが同じファイルシステムに同時

に読み書きできるように特別に設計されており、ネットワーク全体で真のデータ共有を実現します。

**質問: 10**

管理者は、ボリュームのプロビジョニングなどのPowerFlex操作を自動化したいと考えています。どのインターフェイスを使用すべきでしょうか？

- A. GUIのみ
- B. REST API
- C. OSスクリプト
- D. SNMP

正解: ([正解を表示します](#))

REST APIを使用すると、プロビジョニングと管理のための自動化および外部ツールとの統合が可能になります。GUIは手動操作であり、SNMPは監視専用です。

**質問: 11**

PowerFlexクラスターに新しいノードを追加するには、どのような手順が必要ですか？ (2つ選択してください。)

- A. 新しいノードのネットワーク接続を検証する
- B. ノードを既存の保護ドメインに割り当てる
- C. ノード上で重複排除と圧縮を有効にする
- D. ファームウェアとソフトウェアのバージョンを確認します

正解: ([正解を表示します](#))

\* ネットワーク接続の検証 (オプションA) ノードを追加する前に、管理ネットワークとデータネットワーク上で有効なIPアドレスが割り当てられており、既存のMDMクラスターにアクセスできることを確認する必要があります。これができていない場合、「ノードの追加」ウィザードは失敗します。

\* ノードを既存の保護ドメインに割り当てる (オプションB) : 追加処理中、この新しいノードが属する場所をシステムに明示的に指示する必要があります。保護ドメイン (および必要に応じて障害セット)に割り当てます。これにより、システムはデータミラーリングのためにどの他のノードとピアリングを行うべきかを認識します。

**質問: 12**

PowerFlexの運用に不可欠なソフトウェアコンポーネントはどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. ストレージデータサーバー (SDS)
- B. メタデータマネージャー (MDM)
- C. VMware Horizon
- D. PowerProtect Data Manager

正解: ([正解を表示します](#))

この質問は、PowerFlexソフトウェア定義ストレージシステムを構成する主要コンポーネントについて尋ねています。

\* メタデータマネージャ (MDM) オプションB) MDMは制御プレーンです。データのマッピングを管理し、システムの状態を監視し、再構築/再バランスを制御し、構成の中央管理ポイントとして機能します。MDMがないと、クラスタは機能せず、状態も変化しません。

\* ストレージデータサーバー (SDS) オプションA) SDSはデータプレーンです。ストレージを提供するすべてのノードにインストールされるソフトウェアです。ローカルドライブを抽象化し、I/O操作を実行し、他のSDSと通信してデータを複製します。

誤った選択肢: VMware Horizon (C) は PowerFlex を使用する VDI ソフトウェアですが、PowerFlex の一部ではありません。

PowerProtect (D) はバックアップソフトウェアです。

### 質問: 13

PowerFlexにおける保護ドメインの主な目的は何ですか？

- A. 地理的位置に基づいてノードをグループ化する
- B. 障害封じ込めのためのストレージリソースの分離
- C. ストレージプールのメタデータの管理
- D. ノードメンテナンススケジュールの設定

正解: ([正解を表示します](#))

保護ドメイン (PD) は、障害分離の基本単位である。

障害封じ込めのためのストレージリソースの分離 (オプションB) PowerFlexメッシュミラーリングアルゴリズムは、保護ドメイン内でのみ機能します。ノードA (PD1内) のデータは、PD1内の他のノードにのみミラーリングされます。PD2にはミラーリングされません。なぜこれが重要なのでしょうか？致命的なソフトウェアのバグや大規模な電力サージが1つの保護ドメインに影響を与えた場合、その被害はそこに限定されます。他の保護ドメインは正常に機能し続けます。これにより、管理者はクラスタをセグメント化できます (たとえば、PD\_Production と PD\_Test など)。

PD\_Test) を使用して、ある環境の問題が別の環境に波及しないようにします。

### 質問: 14

ノードでメンテナンスモードを有効にすると、データの可用性に影響を与えることなく、そのノードをクラスタから削除できます。正しい。間違い。

- A. 真
- B. 偽

正解: ([正解を表示します](#))

\* 正しい: 保護メンテナンスモード (PMM) の具体的な目的は、データの可用性を確保することです。

\* 仕組み: ノードで PMM を有効にすると、システムはそのノードに存在するデータチャンクをチェックします。ノードがクラスタから実際に「離脱」する (I/O の処理を停止する)

前に、PowerFlex はそのデータをクラスター内の他のノードにコピー（ミラーリング）します。これにより、ノードが物理的に削除または再起動された場合でも、クラスターは必要な数のデータ コピー（冗長性を保持し、データが利用不能 DU）になったり、失われたり（DL）することがなくなります。

**質問: 15**

PowerFlex Managerの主な目的は何ですか？

- A. 仮想マシンの管理
- B. デプロイメントとライフサイクル管理の自動化
- C. ストレージボリュームのスナップショットを作成する
- D. 障害セットの設定

正解: B ([コメントを发表する](#))

PowerFlex Manager (PFxM)は、オーケストレーションおよび自動化のためのアプライアンスです。

\* デプロイメントとライフサイクル管理の自動化 (オプションB) PFXMは、ベアメタルサーバーからOS、ネットワーク、PowerFlexソフトウェアを自動的にデプロイしてクラスタを構築するように設計されています。構築後は、ライフサイクル管理 (LCM)を処理し、ファームウェアのアップグレード、ソフトウェアのパッチ適用、ノードの拡張といった複雑なタスクをダウンタイムなしで自動化します。

誤った選択肢 (VMの管理 A)はvCenter用です。スナップショットの作成 (C)と障害セットの構成 (D)はPowerFlex GUI/ブロックコントローラを介して実行されるストレージタスクであり、PFxMはインフラストラクチャのライフサイクルに重点を置いています。

**質問: 16**

PowerFlexでユーザーアカウントを管理する際にサポートされている認証方式は何ですか？

- A. LDAP
- B. TACACS+
- C. SAML
- D. 半径

正解: A ([コメントを发表する](#))

LDAP (軽量ディレクトリアクセスプロトコル)は、PowerFlexコア (MDM)がユーザーアクセス管理のためにサポートする主要な外部認証方法です。

\* 統合: PowerFlex は、Active Directory または OpenLDAP サーバーにクエリを実行するように構成できます。これにより、管理者は AD グループ (例: ストレージ管理者) を PowerFlex ロール (例:

スーパーユーザー)と呼ばれる機能により、パスワード管理とユーザー削除を一元化します。

\* SAMLに関する注記 :PowerFlex Manager (管理プラットフォーム)および新しいバージョン (4.x)はシングルサインオンにSAML/OIDCをサポートしていますが、PowerFlex

Manager 4.0のID管理について特に質問されている場合を除き、ほとんどの試験環境ではLDAPがコア認証の基本的なソリューションとなります。TACACS+とRADIUS はネットワーク中心のプロトコルであり、PowerFlexストレージコアでは通常サポートされていません。

有効的なD-PWF-OE-00問題集はJPNTTest.com提供され、D-PWF-OE-00試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新D-PWF-OE-00試験問題集を提供します。JPNTTest.com D-PWF-OE-00試験問題集はもう更新されました。ここでD-PWF-OE-00問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/D-PWF-OE-00-mondaishu> 105問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 17

MDMのクォーラムが失われた場合、どうなりますか？

- A. 影響なし
- B. クラスタが利用できなくなります
- C. ストレージのみに影響します
- D. ネットワークのみに影響します

正解: ([正解を表示します](#))

クラスタ操作にはMDMクォーラムが必要です。クォーラムが失われると、データの一貫性が損なわれるのを防ぐため、クラスタが利用できなくなる可能性があります。

質問: 18

PowerFlexにおける障害セットを定義する特性はどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. ストレージプールのメタデータが含まれています
- B. ノード障害発生時にもデータ可用性を確保します。
- C. 最低3ノードが必要です
- D. 保護ドメインは1つに限定されます

正解: ([正解を表示します](#))

保護ドメインが1つに限定されます (オプションD) : 障害セットは、保護ドメイン内の論理的な区分です。障害セットを複数の保護ドメインにまたがらせることはできません。データ可用性の確保 (オプションB) : 障害セットの目的は、「ラック認識」をシミュレートすることです。PowerFlexは、データのコピー (ミラー) が同じ障害セットに配置されないようにします。障害セット1 (ラック1) が完全に故障した場合でも、システムは障害セット2または3にそのデータのセカンダリコピーが存在することを保証し、データの可用性を維持します。

質問: 19

PowerFlexのアップグレードを開始する前に必要な手順はどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. ノードのハードウェア互換性を確認する
- B. すべてのボリュームのスナップショットを作成する
- C. クラスタ構成をバックアップする
- D. 冗長性を確保するために障害セットを再構成する

正解: **A,C** ([コメントを发表する](#))

安全なアップグレードには準備が不可欠です。

\* クラスタ構成のバックアップ (オプション C) : 変更加える前に、管理者は MDM クラスタ構成のバックアップを実行する必要があります。これにより、アップグレード中に致命的な障害が発生した場合に備えて、システムのメタデータ (マッピング、設定、ユーザーアカウント) の復旧ポイントが作成されます。

\* ノードのハードウェア互換性を確認する (オプション A) : 管理機、ハードウェア サーバーモデル、CPU、NIC) と現在のファームウェアレベルが新しい PowerFlex ソフトウェアバージョンと互換性があることを確認する必要があります。ヘルスチェックまたはアップグレード前検証ツールを実行すると、ノードが対象バージョンの厳格な要件 (HCL) を満たしているかどうかを確認できます。

誤った選択肢 : すべてのボリュームのスナップショットを作成すること (B) は、システムアップグレードの要件ではありません (データの安全性を高めるには良いことですが、アップグレード手順自体の一部ではありません)。障害セットを再構成すること (D) は構造的な変更であり、アップグレード前の手順ではありません。

質問: 20

PowerFlexで安全なユーザーアカウントを設定するには、どのような手順が必要ですか？ (2つ選択してください。)

- A. PowerFlexとLDAPを統合する
- B. VLANをユーザーアカウントに割り当てる
- C. パスワードポリシーを設定する
- D. 多要素認証を有効にする

正解: **A,C** ([コメントを发表する](#))

管理インターフェースへのアクセスを確保することは、Day 0 または Day 1 構成における重要なステップです。

\* PowerFlexとLDAPの統合 (オプション A) エンタープライズ環境では、すべてのシステムでローカルユーザーを管理するのは非効率的でセキュリティ上のリスクがあります。PowerFlexは、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) サーバー (Active Directory など) との統合をサポートしています。これにより、管理者はユーザー管理を一元化し、Active DirectoryグループをPowerFlexの役割 (管理者 監視者など) にマッピングできます。

\* パスワードポリシーの設定 (オプション C): ローカルユーザーアカウント (LDAP がダウンした場合の緊急アクセスに必要) については、PowerFlex で厳格なパスワードポリ

シーを定義できます。これには、パスワードの複雑さ(長さ、特殊文字)、有効期限、履歴(古いパスワードの再利用の防止)に関する要件の設定が含まれます。

誤った選択肢「VLAN B」はネットワークの構成要素であり、ユーザーアカウントの設定ではありません。MFA「D」は強く推奨されますが、通常はコアSDS構成内の単純なチェックボックス「ステップ」ではなく、IDプロバイダー「dP」レベル「PowerFlex Manager内のKeycloakなど」で適用されます。

#### 質問: 21

PowerFlexのスナップショットは、デフォルトで書き込み可能な状態で作成されます。

A. 真

B. 偽

正解: [A \(コメントを发表する\)](#)

多くの従来型ストレージレイでは、スナップショットはデータの読み取り専用の「ビュー」であり、それをマウントして書き込みを行う場合「テストやデータベースの復旧のため」、そのスナップショットから「クローン」または「リンククローン」を作成する必要があります。

PowerFlexは、この点で他とは異なります。PowerFlexスナップショットは、技術的には単なるボリュームの一つです。作成後すぐに書き込みが可能で、書き込み時にリダイレクトするメカニズムを採用しています。ホストがスナップショットをマウントして書き込みを行うと、新しいデータはソースボリュームとは異なる新しいブロックに書き込まれます。これにより、書き込み可能なコピーが即座に必要なDevOpsやCI/CDワークフローにおいて、PowerFlexスナップショットは非常に高い俊敏性を発揮します。

#### 質問: 22

管理者は、PowerFlexクラスタに2つのノードを追加する任務を負っています。適切な統合を確実にするために、管理者はどのような手順を踏む必要がありますか？ (2つ選択してください。)

A. ハードウェアの互換性を確認してください

B. 新しいノードのネットワーク接続を検証する

C. ノードを保護ドメインに割り当てる

D. 新しいノードを含めるように障害セットを再構成する

正解: [\(正解を表示します\)](#)

「適切な統合」(つまり、クラスタを壊すことなく追加プロセスが成功すること)を確実にするために:

ハードウェアの互換性を確認する (オプションA) : 新しいノードは、既存のノードと同じCPU/RAMプロファイル、そして重要な点として、同じドライブタイプ/容量を備えている必要があります。ハイブリッドノードをオールフラッシュクラスタに追加したり、互換性のないファームウェアを搭載したノードを追加したりすると、パフォーマンスの低下や不安定性が発生する可能性があります。

ネットワーク接続の検証 (オプションB) PowerFlexソフトウェアをインストールまたはクラスタに追加する前に、ノードは有効なIPアドレスを持ち、管理ネットワークおよびデータネットワークを介してMDMと通信する必要があります (MTU、VLAN、ルーティングの確認)。

**質問: 23**

PowerFlexでボリュームを操作するための有効な操作はどれですか？

- A. 障害セットにボリュームを割り当てる
- B. ボリュームのスナップショットを作成する
- C. ボリュームのVLANタグ付けを設定します
- D. メタデータマネージャにボリュームを追加する

正解: ([正解を表示します](#))

管理者は、データライフサイクルを管理するために、ボリュームに対してさまざまな操作を実行します。

ボリュームのスナップショットを作成する (オプションB) これは標準的なDay-2操作です。ユーザーはボリュームを選択し、スナップショット (または整合性グループのスナップショット) をトリガーできます。これにより、ボリュームの特定時点の書き込み可能なコピーが即座に作成されます。

**質問: 24**

PowerFlexソフトウェアをアップグレードする前に、どのような対策を講じるべきですか？

- A. すべてのノードをシャットダウンします
- B. システムの健全性と冗長性を確認する
- C. ボリュームを削除する
- D. レプリケーションを無効にする

正解: ([正解を表示します](#))

アップグレードを行う前に、管理者はクラスタの健全性と冗長性を確保し、データ損失やサービスの中断を防ぐ必要があります。ノードのシャットダウンやボリュームの削除は不要です。

**質問: 25**

PowerFlexのアップグレードには、すべてのノードをメンテナンスモードにする必要があります。正しい。間違い。

- A. 真
- B. 偽

正解: **A,B** ([コメントを发表する](#))

PowerFlexは、無停止アップグレード (NDU) を前提として設計されています。すべてのノードを同時にメンテナンスモードにすると、クラスタ全体が停止 (データ利用不可) してしまい、このアーキテクチャの目的が損なわれてしまいます。

アップグレードプロセスは順次実施されています。

\* ノード1はメンテナンスモードに入ります (データは他のノードに安全に保管されています)。

\* ノード1がアップグレードされ、再起動されました。

\* ノード1がクラスタに再参加し、データを同期します。

\* システムはノード2に移動します。

クラスタ全体がメンテナンスモードになることは一切ありません。クラスタはプロセス全体を通してオンライン状態を維持し、I/O処理を継続します。

#### 質問: 26

どの機能が、ボリュームの特定時点のコピーを提供しますか？

A. リバランス

B. スナップショット

C. 複製

D. マッピング

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

スナップショットは、バックアップまたはリカバリのために特定の時点のコピーを作成します。レプリケーションは冗長性を提供しますが、特定の時点のコピーは作成しません。

#### 質問: 27

PowerFlexのインストール後の作業として、どのような操作を行うことができますか？ (2つ選択してください。)

A. 保護ドメインの設定

B. ノードにVLANを割り当てる

C. 障害セットを有効にする

D. 複製ターゲットを定義する

正解: ([正解を表示します](#))

「インストール後」とは、基本ソフトウェア (MDM/SDS)のインストール後、システムが本番環境での入出力に完全に対応できるようになるまでの手順を指します。

保護ドメインの設定 (オプションA) これが手順1です。ストレージの論理的な境界を定義する必要があります。

障害セットの有効化 (オプションC) これは、通常、保護ドメイン構造の設定時に行われる重要な構成手順です。ラック認識のために障害セットを使用する場合は、大量のデータをシステムに投入する前に、障害セットを有効にして定義する必要があります。後から障害セット構造に変換すると、運用が複雑になるためです。

#### 質問: 28

PowerFlexで安全なアラート設定を確保するには、どの操作が必要ですか？ (2つ選択してください)

A. SNMPトラップの送信先を検証する

- B. 重要なイベントのメール通知を設定する
- C. アラートに対するロールベースのアクセス制御を有効にする
- D. メタデータマネージャーにアラートを割り当てる

正解: **A,B** ([コメントを发表する](#))

アラートを設定することで、管理者はセキュリティやシステムの健全性に関する問題を迅速に通知されるようになります。

SNMPトラップの送信先を検証する (オプションA) PowerFlexはSNMPトラップを中央監視ステーション (Nagios、SolarWinds、Secureworksなど)に送信できます。これらの送信先を検証することで、機密性の高いアラートデータが承認された安全なサーバーに送信され、不正なIPアドレスに漏洩しないことが保証されます。

重大なイベントのメール通知を設定する (オプション B): SMTP ゲートウェイを設定すると、PowerFlex は 重大」または 「エラー」イベントが発生したときに管理者にすぐにメールを送信できます (例:

「ドライブエラー」または 「ログインエラー」が表示される場合があります。このチャンネルが暗号化 (TLS) され、適切な配布リストに送信されることを確認することは、安全な構成の一部です。

質問: 29

PowerFlexクラスター間でレプリケーションを有効にするために満たすべき前提条件はどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. レプリケーショントラフィックのVLANタグ付けを定義する
- B. 両方のクラスターでスナップショットのスケジュール設定を有効にする
- C. クラスター間のネットワーク接続を設定する
- D. ボリュームにレプリケーションロールを割り当てる

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 30

PowerFlexのアラート機能を強化するために、管理者はどのような操作を実行できますか？ (2つ選択してください。)

- A. SNMPトラップの宛先を設定する
- B. アラートトラフィックの暗号化を有効にする
- C. 重大なイベントに対するアラートしきい値を設定する
- D. スケジュールアラート保持ポリシー

正解: ([正解を表示します](#))

SNMPトラップの送信先を設定する (オプションA) これは、ローカルダッシュボードを超えたアラート機能を「強化」するための標準的な方法です。SNMPトラップをエンタープライズ監視システム (SolarWinds、Nagios、OpenManageなど)に送信することで、管理者はアラートが一元管理され、自動的にチケット化されることを保証できます。

重要なイベントのアラートしきい値を割り当てる オプション C) PowerFlex では、管理者が特定のしきい値をカスタマイズできます (例 :ストレージ プールの使用率が 85% を超える場合にアラート) または [レイテンシが > の場合アラート])。

10ms])。これらのしきい値を設定することで、アラートシステムがデフォルトの [システムダウン]アラートだけに頼るのではなく、特定のワークロードのニーズに合わせてプロアクティブに動作することが保証されます。

#### 質問: 31

PowerFlexの共有ファイルシステムでは、複数のノード間でデータを共有できます。正誤を答えなさい。

- A. 真
- B. 偽

正解: ([正解を表示します](#))

これはPowerFlex File (旧称PowerFlex NAS)を指します。

PowerFlexの中核製品はブロックストレージソリューション VMFSやOCFS2のようなクラスタファイルシステムなしでは2台の標準OSホスト間で安全に共有できない生のLUN/ボリュームを提供する)ですが、PowerFlex FileではNASノードが導入されています。これらのノードはブロックストレージをフォーマットし、NFSまたはSMBプロトコルを介して提供します。これらのプロトコルは、複数のクライアントが同じファイルシステムに同時に読み書きできるように特別に設計されており、ネットワーク全体で真のデータ共有を実現します。

有効的なD-PWF-OE-00問題集はJPNTTest.com提供され、D-PWF-OE-00試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新D-PWF-OE-00試験問題集を提供します。JPNTTest.com D-PWF-OE-00試験問題集はもう更新されました。ここでD-PWF-OE-00問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/D-PWF-OE-00-mondaishu> 105問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

#### 質問: 32

ストレージプールを作成する前に、どの論理エンティティを構成する必要がありますか？

- A. 故障セット
- B. 保護領域
- C. リソースグループ
- D. ストレージデータサーバー

正解: ([正解を表示します](#))

保護ドメイン オプションB) : 保護メイン (PD)は、PowerFlex階層における親コンテナです。

階層: 保護ドメイン  $\rightarrow$  ストレージプール  $\rightarrow$  デバイス (ディスク)。  
論理 : ストレージプールは単独で存在することはできず、特定の保護ドメインに属していなければなりません。

PDは、プールがどのSDSノードのグループにまたがるかを定義します。まずPDを作成し、PDにSDSを追加してから、そのPD内にストレージプールを作成する必要があります。

質問: 33

PowerFlex のスナップショットは、デフォルトで書き込み可能な状態で作成されます。正しい。間違い。

A. 真

B. 偽

正解: ([正解を表示します](#))

多くの従来型ストレージレイでは、スナップショットはデータの読み取り専用の「ビュー」であり、それをマウントして書き込みを行う場合 (テストやデータベースの復旧のため)、そのスナップショットから「クローン」または「リンククローン」を作成する必要があります。

PowerFlexは、この点で他とは異なります。PowerFlexスナップショットは、技術的には単なるボリュームの一つです。作成後すぐに書き込みが可能で、書き込み時にリダイレクトするメカニズムを採用しています。ホストがスナップショットをマウントして書き込みを行うと、新しいデータはソースボリュームとは異なる新しいブロックに書き込まれます。これにより、書き込み可能なコピーが即座に必要なDevOpsやCI/CDワークフローにおいて、PowerFlexスナップショットは非常に高い俊敏性を発揮します。

質問: 34

PowerFlexで作成されたスナップショットのデフォルトの状態は何ですか？

A. 読み取り専用

B. 編集可能

C. アクティブ

D. アーカイブ済み

正解: ([正解を表示します](#))

\* 編集可能 (書き込み可能) スナップショットが読み取り専用のフリーズイメージであり、書き込み可能にするには「クローン」が必要となる従来のストレージレイとは異なり、PowerFlexのスナップショットはデフォルトで完全に書き込み可能なボリュームです。

\* 動作: スナップショットは作成直後にボリュームとしてマッピングされます。リダイレクトオンライトアーキテクチャにより、ソースの親ボリュームに影響を与えることなく、ホストにマウントしたり、新しいデータを書き込んだり、ファイルを削除したり、フォーマットしたりできます。

質問: 35

PowerFlexのどのモデルが、コンピューティングとストレージを単一のアプライアンスに統合していますか？

- A. PowerFlex R
- B. PowerFlex Manager
- C. パワーフレックスアプライアンス
- D. PowerFlexラック

正解: ([正解を表示します](#))

#### 質問: 36

PowerFlexのアップグレード中に、アクティブなワークロードはどうなりますか？

- A. アップグレードが完了するまで一時停止されます
- B. 別のクラスターに移行されます
- C. 彼らは中断することなく走り続ける
- D. アップグレード後にバックアップおよび復元されます

正解: **C** ([コメントを发表する](#))

PowerFlexは、無停止アップグレード (NDU) 向けに特別に設計されています。

\* 継続運用 (オプション C) アクティブなワークロード (データベース、VM、コンテナ)は、アップグレードプロセス全体を通して実行され、I/O 処理を継続します。

\* 仕組み :ノード (SDS)のアップグレードが必要な場合、そのノードはメンテナンスモードに移行します。システムは、そのノード上のデータが他の場所にミラーリングされているか、セカンダリコピーからアクセス可能であることを保証します。

アプリケーションホスト上のSDC (クライアントドライバ)は、I/Oを自動的に残りの正常なノードにリダイレクトします。ノードがアップグレードされて再起動されると、クラスターに再参加し、SDCはI/Oの送信を再開します。この透過性により、アプリケーションのダウンタイムはゼロになります。

#### 質問: 37

PowerFlexクラスター間でレプリケーションを有効にするために満たすべき前提条件はどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. クラスター間のネットワーク接続を設定する
- B. 両方のクラスターでスナップショットのスケジュール設定を有効にする
- C. ボリュームにレプリケーションロールを割り当てる
- D. レプリケーショントラフィックのVLANタグ付けを定義する

正解: ([正解を表示します](#))

PowerFlexのネイティブレプリケーション機能により、地理的に離れた2つのクラスター間で非同期レプリケーションが可能になります。

\* ネットワーク接続の設定 (オプションA) : 送信元クラスターのSDSノードは、宛先クラスターのSDSノード (旧バージョンではSDRノード)にトラフィックをルーティングする必要があります。これには、物理的なWANリンクと適切なルーティング/ゲートウェイ構成が必要です。

\* レプリケーション トラフィックの VLAN タグ付けを定義する (オプション D): レプリケーション トラフィックは負荷が高く、標準の管理トラフィックや内部再構築トラフィックとは分離する必要があります。レプリケーション専用の VLAN を設定することで、レプリケーション データ ストリームに十分な帯域幅が確保され、ローカル ストレージ ネットワークが混雑することがなくなります。

**質問: 38**

ストレージプールを構成するために必要な手順は何ですか？ 2つ選択してください。)

- A. 保護ドメインを定義する
- B. 性能特性が類似したドライブを割り当てる
- C. クラスタ間のレプリケーションを有効にする
- D. ストレージプールのVLANタギングを設定します

正解: ([正解を表示します](#))

ストレージプールとは、物理デバイスの容量を集約する論理的なエンティティです。保護ドメインの定義 (オプションA) ストレージプールの階層構造は厳密です。まず、SDS ノードをグループ化する保護ドメイン (PD)を作成する必要があります。ストレージプールは、その保護ドメイン内に作成されます。この親コンテナがないと、ストレージプールを作成することはできません。

パフォーマンス特性が類似したドライブを割り当てる (オプションB) これは重要な構成要件です。PowerFlexは、プール内のすべてのドライブにデータをストライピングします。同じプールにNVMeドライブとSATAドライブを混在させると、高速なNVMeドライブが低速なSATAドライブを待つことになり、プール全体のパフォーマンスが最低レベルまで低下します (遅延)効果)。

したがって、標準的な手順は、メディアの種類ごとに別々のプールを作成することです (例 :

NVMeの場合は Performance\_Pool」、HDDの場合は Capacity\_Pool」。

**質問: 39**

PowerFlexのどの機能を利用して、クラスタ内のストレージ容量を拡張しますか？

- A. 故障セット
- B. 動的ノード追加
- C. スナップショット
- D. 共有ファイルシステム

正解: ([正解を表示します](#))

PowerFlexはスケールアウトアーキテクチャです。

動的ノード追加 (オプションB) これは、x86サーバー (ノード)をクラスタにオンザフライで追加できる機能です。ローカルドライブを備えたノードを追加すると、PowerFlexソフトウェアが自動的に新しい容量を認識します。その後、リバランス操作が開始され、既存の満

杯のノードから新しい空きノードにデータチャンクが移動され、クラスタ全体で使用状況が均一になります。

このプロセスにより、ストレージ容量とパフォーマンス (OPS/帯域幅) の両方が直線的に増加します。

**質問: 40**

PowerFlexのどの機能を使えば、複数のノード間でストレージデータを共有できますか？

- A. 故障セット
- B. PowerFlexファイル (共有ファイルシステム)
- C. ストレージプール
- D. 複製ターゲット

正解: ([正解を表示します](#))

PowerFlexは主にブロックストレージソリューションですが、複数のノード間でデータを共有できるようにファイルサービス (PowerFlex File) をサポートしています。

\* PowerFlexファイル (共有ファイルシステム) このアーキテクチャは、PowerFlexクラスタにNAS ネットワーク接続ストレージ) 機能を追加します。物理または仮想のNASノードがPowerFlexブロックボリュームを消費し、ファイルシステムでフォーマットします。これらのファイルシステムは、Linux/Unixの場合はNFS ネットワークファイルシステム)、Windowsの場合はSMB (サーバーメッセージブロック)などの標準プロトコルを介してクライアントに公開されます。これにより、複数の計算ノードまたはユーザーが同じ論理ストレージスペースに同時に読み書きできるようになります。

\* 他の選択肢ではダメなのか？

\* 障害セットは、高可用性を確保するためのリソースの論理的な分離を目的としており、データ共有を目的とするものではありません。

\* ストレージプールは、パフォーマンス階層を定義するために物理ドライブをグループ化したものであり、ファイル共有のメカニズムではありません。

\* レプリケーションは、災害復旧 (データをリモートサイトにコピーすること)のためのものであり、クラスタ内でのアクティブな共有のためのものではありません。

**質問: 41**

PowerFlexボリュームに対して実行できる具体的な操作はどれですか？ (2つ選択してください)

- A. スナップショットを作成する
- B. ボリューム上でVLANタギングを直接設定する
- C. ボリュームを保護ドメインに割り当てる
- D. データレプリケーションを有効にする

正解: ([正解を表示します](#))

PowerFlexボリュームは、ホストにマッピングされたブロックレベルのストレージデバイスです。

\* スナップショットの作成 オプション A) スナップショットは、ボリュームの特定時点のコピーです。PowerFlex では、スナップショットは書き込み可能で、瞬時に作成されます。変更が加えられるまで（書き込み時のリダイレクト）、ソースボリュームと同じデータブロックを共有します。スナップショットは、バックアップ、テスト/開発環境、クローンの作成に不可欠です。

\* データレプリケーションを有効にする オプション D) PowerFlexはネイティブの非同期および同期レプリケーションをサポートしています。これはボリュームレベル またはボリュームを含む整合性グループ経由)で構成します。

ボリュームを選択し、それをリモートのPowerFlexクラスター上の宛先ボリュームとペアリングすることで、災害復旧を確実にします。

誤った選択肢：

\* VLANタギング B) これはストレージブロックボリュームではなく、OS/スイッチ/インターフェースレベルで実行されるネットワーク構成です。

\* PD (C) への割り当て: ボリュームはストレージ プール内に存在し、ストレージ プールは保護ドメイン内に存在します。

ストレージプールを作成する際にボリュームを割り当てるのであって、保護ドメインに直接割り当ててわけではありません。

#### 質問: 42

PowerFlexにおけるボリュームレプリケーションの重要な考慮事項は何ですか？ (2つ選択してください。)

- A. クラスター間の十分なネットワーク帯域幅
- B. 事前定義されたスナップショット保持ポリシー
- C. 同一のストレージプール構成
- D. 互換性のある複製プロトコル

正解: [\(正解を表示します\)](#)

\* 十分なネットワーク帯域幅 オプション A) PowerFlexのレプリケーションは通常非同期で行われます。

しかし、サイト間のリンク (WAN)は、データの変更率に対応できるよう適切なサイズにする必要があります。アプリケーションが1GB/秒のデータを書き込み、WANリンクの速度が100MB/秒しかない場合、レプリケーションバッファ (ジャーナル)が満杯になり、コンプライアンス違反 (RPO違反)が発生します。

\* 互換性のあるレプリケーション プロトコル (オプション D): レプリケーション メタデータとデータ ストリーム フォーマットを理解するには、ソース クラスターとターゲット クラスターの両方で、互換性のあるバージョンの PowerFlex ソフトウェアが実行されている必要があります。

誤ったオプション :ストレージプールは同一である必要はありません C)-DRサイトで NVMeプールからより安価なHDDプールにレプリケーションできます。スナップショット保持 B)はローカルバックアップの設定であり、レプリケーションの前提条件ではありません。

質問: 43

PowerFlex クラスター間でボリュームを複製するために必要な最小帯域幅要件は何ですか？

- A. 1Gbps
- B. 10 Mbps
- C. 100 Mbps
- D. 10 Gbps

正解: ([正解を表示します](#))

100 Mbps: PowerFlex レプリケーションは非常に効率的で、固有のデータ チャンク (デルタ) のみを送信しますが、クラスター間の WAN リンクでサポートされる最小の信頼できる帯域幅は通常

100Mbps。

理由 :この速度を下回ると、本番データベースの変更率が中程度であっても、レプリケーションジャーナルがリモートサイトへのデータ転送速度よりも速く満杯になる可能性が高くなります。これにより「バッファ満杯」状態となり、レプリケーションが一時停止したり、システムが目標復旧時点 (RPO) を満たせなくなったりする可能性があります。

質問: 44

PowerFlexにおけるスナップショットの主な目的は何ですか？

- A. ストレージの冗長性を削減する
- B. 特定時点のデータ復旧を有効にする
- C. クラスター間のデータ複製を自動化する
- D. ストレージパフォーマンス指標の改善

正解: ([正解を表示します](#))

\* ポイントインタイムデータ復旧を有効にする (オプションB) スナップショットは、ボリュームの状態を特定の秒の時点で固定します。その後、データが破損、削除、またはランサムウェアによって暗号化された場合、管理者はスナップショットを使用して、その「時点」の状態にデータを正確に復元できるため、データ損失を最小限に抑えることができます。

質問: 45

PowerFlexにおけるCloudLinkの統合により、転送中のデータが暗号化されます。正しい。間違い。

- A. 真
- B. 偽

正解: ([正解を表示します](#))

\* 誤り :CloudLinkは主に保存データの暗号化 (D@RE) および鍵管理ソリューションです。

\* 詳細 :CloudLinkはPowerFlexと連携し、自己暗号化ドライブ (SED)またはソフトウェアベース暗号化 (SDRE)のキーを管理します。これにより、データセンターから物理ドライブが盗まれた場合でもデータが保護されます。

\* 転送中のデータ: 「転送中」のデータ (SDC と SDS 間、または SDS と SDS 間) の暗号化は、PowerFlex ネイティブのセキュアデータ転送 (SDT) プロトコル (v4.0 で導入) または外部ネットワーク暗号化 (IPsec/VPN) によって処理されます。新しいバージョンでは CloudLink が SDT のキーを管理する可能性があります。PowerFlex 試験における CloudLink 統合機能の基本的な定義は、従来 D@RE を指していました。

#### 質問: 46

PowerFlexノードでメンテナンスモードを有効にするメリットは何ですか？ (2つ選択してください。)

- A. 運用を中断することなくノードのハードウェアアップグレードを可能にします
- B. データを他のノードに自動的に複製します
- C. トラブルシューティングのためにノードを隔離します
- D. より高速な重複排除処理を可能にします

正解: A,B ([コメントを发表する](#))

この質問は、ノード保守のための標準的な運用手順である保護保守モード (PMM)に特に関連するものです。

運用を中断することなくノードのハードウェアアップグレードが可能 (オプションA) これが主なビジネス上のメリットです。ノードをPMMに配置することで、電源をオフにして故障したDIMMの交換、CPUのアップグレード、ファームウェアのアップデートを行うことができます。クラスターはダウンタイムなしでアプリケーションへのI/O処理を継続します。データの自動複製 (オプションB) これはPMMを安全にする技術的な仕組みです。PMMが要求されると、PowerFlexシステムはそのノードに存在するデータチャンクを識別します。ノードがオフラインになる前に、そのデータをクラスター内の他の利用可能なノードに積極的にコピー (メッシュミラーリング) します。これにより、ノードがメンテナンスのために停止している間でも、クラスターは完全なデータ冗長性 (通常は2つのコピー) を維持します。

有効的なD-PWF-OE-00問題集はJPNTTest.com提供され、D-PWF-OE-00試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新D-PWF-OE-00試験問題集を提供します。JPNTTest.com D-PWF-OE-00試験問題集はもう更新されました。ここでD-PWF-OE-00問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/D-PWF-OE-00-mondaishu> 105問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

#### 質問: 47

PowerFlex Managerを使用したPowerFlexアップグレード中に自動化されるタスクはどれですか？ (2つ選択してください。)

- A. ノードごとのアップグレードプロセス
- B. ストレージプールの再調整
- C. アップグレードの進捗状況を監視する
- D. 耐障害性に関する問題の解決

正解: [\(正解を表示します\)](#)

PowerFlex Manager (PFxM) はライフサイクル管理 (LCM) を統括します。

ノードごとのアップグレードプロセス オプション A) P.FxM は面倒な手順を自動化します。ノード 1 でメンテナンス モードに入る -> 同期を待つ -> OS/ファームウェア/SDS をアップグレードする -> 再起動する -> メンテナンス モードを終了する -> 健全性を確認する -> ノード 2 に移動する。

アップグレードの進捗状況の監視 オプション C) P.FxMは、このプロセスの統合ビューを提供します。ジョブのステータス、完了率、および特定の手順 (例 :BIOSのフラッシュ中」または「リバランス待ち」)を追跡します。

質問: 48

ノードでメンテナンスモードを有効にすると、データの可用性に影響を与えることなく、そのノードをクラスタから削除できます。

- A. 真
- B. 偽

正解: [\(正解を表示します\)](#)

正しい : 保護メンテナンスモード (PMM)の具体的な目的は、データの可用性を確保することです。

仕組み :ノードでPMMを有効にすると、システムはそのノードに存在するデータチャンクをチェックします。ノードがクラスタから実際に「離脱」(IO処理の停止)する前に、PowerFlexはそのデータをクラスタ内の他のノードにコピー (ミラーリング)します。これにより、ノードが物理的に削除または再起動された場合でも、クラスタは必要な数のデータコピー (冗長性を保持し、データが利用不能 (DU)になったり、失われたり (DL)することがなくなります。

質問: 49

ストレージプールを作成する前に、どの論理エンティティを構成する必要がありますか？

- A. 故障セット
- B. 保護領域
- C. リソースグループ
- D. ストレージデータサーバー

正解: [\(正解を表示します\)](#)

\* 保護ドメイン オプション B) : 保護メイン (PD)は、PowerFlex 階層における親コンテナです。

- \* 階層: 保護ドメイン  $\rightarrow$  ストレージプール  $\rightarrow$  デバイス (ディスク)。
- \* ロジック :ストレージプールは単独で存在することはできません。特定の保護ドメイン (PD)に属している必要があります。PDは、プールがどのSDSノードのグループにまたがるかを定義します。まずPDを作成し、PDにSDSを追加してから、そのPD内にストレージプールを作成する必要があります。

**質問: 50**

PowerFlexのアラート設定への準拠を確実にするには、どの操作を行う必要がありますか？

- A. イベント監視のためにSNMPトラップを有効にする
- B. 障害セットにアラートを割り当てる
- C. スナップショット保持ポリシーを有効にする
- D. アラートトラフィックのVLANタグ付けを設定する

正解: ([正解を表示します](#))

PowerFlexシステムが企業監視基準に準拠し、管理者が重大な障害を即座に通知されるようにするには、外部監視ツールとの統合が不可欠です。

\* SNMPトラップを有効にする オプションA) PowerFlex (特にゲートウェイまたはPowerFlexマネージャ)は、Simple Network Management Protocol (SNMP)トラップを中央のネットワークオペレーションセンター (NOC)コンソール (SolarWinds、Nagios、Dell Secure Connect Gatewayなど)に送信するように構成できます。これにより、ドライブの障害やノードのオフラインが発生した場合でも、管理者がログインしてGUIを確認するのを待つことなく、イベントが即座に送信されます。

\* 他の回答が間違っている理由 :アラートはグローバルまたはデバイス固有のものであり、「障害セットに割り当てられる」ものではありません B)。スナップショット保持 C)はデータ保護設定であり、アラート設定ではありません。VLANタグ付け D)はネットワークトラフィックの分離のためのものであり、「アラート準拠」のためではありません。

**質問: 51**

PowerFlexクラスターにおいて、SDSノード間で容量配分に偏りが生じています。データの再バランスを行うには、どの機能を使用すべきでしょうか？

- A. 手動ディスク移行
- B. リバランス操作
- C. スナップショットの複製
- D. ボリュームリマッピング

正解: ([正解を表示します](#))

リバランス操作は、データをSDSノード全体に均等に再分配することで、容量とパフォーマンスを最適化します。手動による移行は非効率的でエラーが発生しやすく、スナップショットやボリュームのリマッピングでは分散の問題は解決されません。

**質問: 52**

PowerFlexにおいて、データ集約とストレージ管理を担当するコンポーネントはどれですか？

- A. メタデータマネージャ
- B. ストレージデータサーバー
- C. 保護ドメイン
- D. 故障セット

正解: [\(正解を表示します\)](#)

MDMは構成を管理する一方、ストレージデータサーバー (SDS)は、生のストレージの実際の集約とデータ永続性の管理を担当するコンポーネントです。

\* SDSの役割 :SDSソフトウェアは、ストレージを提供するすべてのノードで実行されます。ローカルの物理ドライブ (NVMe、SSD、HDD)の所有権を取得し、それらを集約して、ストレージプールの一部として提供します。

\* データ処理 :SDSは、ディスクへのデータ書き込み、クライアント (SDC)からのデータ読み取り、およびデータの一貫性確保といった、データ処理の重要な役割を担います。また、他のSDSと通信してデータチャンクを複製することで、「ミッシュミラーリング」を管理します。SDSがない場合、物理ドライブは単なる独立したディスクに過ぎませんが、SDSはそれらを統合し、一貫性のあるソフトウェア定義ストレージ層として機能させます。

質問: 53

PowerFlex Manager (PFxM) を使用して実行できるタスクはどれですか？ (2つ選択してください)

- A. 仮想マシンの移行 (vMotion)
- B. ノードのライフサイクル管理 (LCM)
- C. バックアップとリカバリの設定
- D. クラスターのパフォーマンスと健全性の監視

正解: [\(正解を表示します\)](#)

PowerFlex Manager (PFxM)は、PowerFlex環境向けの統合管理およびオーケストレーションツールです。その機能は、vCenterのような仮想化マネージャーやPowerProtectのようなバックアップソフトウェアとは異なります。

ライフサイクル管理 (LCM) これはPFxMの中核機能です。ハードウェアとソフトウェアスタックのライフサイクル全体を自動化します。これには、ノードの検出、サービス (テンプレート)の定義、複雑なアップグレードプロセスの自動化が含まれます。PFxMは、ノードと連携してメンテナンスモードに移行し、ファームウェア/BIOS/OS/PowerFlexソフトウェアを更新して、ノードを順次サービスに復帰させることで、無停止アップグレード (NDU)をオーケストレーションします。

クラスターのパフォーマンスと健全性の監視 :PFxMは中央ダッシュボードとして機能します。基盤となるPowerFlexクラスターからのアラート、イベント、パフォーマンスメトリックを集約します。システム、コンプライアンス、リソースの健全性スコアを提供することで、管理者はボトルネックやハードウェア障害 (ドライブの故障やNICの切断など)をリアルタイムで視覚的に特定できます。

質問: 54

PowerFlex のインストール後のタスクには、保護ドメインと障害セットの設定が含まれません。正しい。間違い。

- A. 真
- B. 偽

正解: [\(正解を表示します\)](#)

\* 真：初期ソフトウェア展開 (0日目) 後 システムはインストール済みのMDM/SDSソフトウェアで構成されますが、論理ストレージ構造は存在しません。

\* 1日目のタスク：管理者の最初のタスクは次のとおりです。

\* 保護ドメインを作成します (SDSノードをグループ化します)。

\* (オプションですが推奨) ラック認識のために、その保護ドメイン内で障害セットを設定します。

\* PD内にストレージプールを作成します。

\* プールにデバイス (ドライブ) を追加します。

これらの「インストール後」の作業が完了して初めて、ボリュームを作成してホストにマッピングできるようになります。

質問: 55

PowerFlexのストレージプールを拡張するにはどうすればよいですか？

- A. 既存のプールにディスクを追加する
- B. 障害セット内のノード数を増やす
- C. クラスタ間のレプリケーションを設定する
- D. 新しい保護ドメインを作成する

正解: [A \(コメントを发表する\)](#)

PowerFlexストレージプールは、物理ドライブ容量のための柔軟なコンテナです。

\* 既存のプールにディスクを追加する (オプション A) ストレージプールを拡張するには、既存のノードに新しいドライブを物理的に挿入してプールに追加するか、まったく新しいノード (ドライブが搭載されている) をクラスタに追加します。

\* プロセス :ストレージプールに新しいデバイスが追加されると、PowerFlex MDMは自動的にリバランス操作を開始します。既存のデータチャンクを、容量がいっぱいのドライブから新しい空きドライブに移動し、プール内のすべてのドライブの使用率が均等になるまで処理を続けます。このプロセスはホストからは透過的に実行され、プールの容量とI/Oパフォーマンスの両方を向上させます。

質問: 56

管理者がPowerFlexクラスタのアップグレードを準備しています。成功を確実にするために、管理者はどのような手順を踏むべきでしょうか？ (2つ選択してください。)

- A. 現在のクラスタ構成をバックアップします
- B. すべてのノードのハードウェア互換性を検証する

C. すべてのボリュームで重複排除を有効にする

D. PowerFlex Managerでクラスタの健全性ステータスを確認します。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

アップグレードを成功させるには、安定した初期状態と復旧計画が不可欠です。

クラスタの健全性ステータスを確認する オプション D) これは最も重要な前提条件です。PowerFlex Manager ダッシュボードを確認するか、CLI (`$cli --query_cluster`) を使用して、システムの状態が「最適」であることを確認する必要があります。システムが「劣化」状態にある場合、または再構築/再バランスが現在実行中の場合は、アップグレードを進めることはできません。アップグレードのためにノードをオフラインにすると、データが利用できなくなる可能性があるためです。

現在のクラスタ構成をバックアップする オプション A) アップグレード中に致命的な障害 (MDMデータベースの破損など) が発生した場合、MDM構成の最新のバックアップがあれば、クラスタマップとボリューム定義を復元できます。

質問: 57

PowerFlex共有ファイルシステムを管理するために、管理者はどのような操作を実行できますか？ (2つ選択してください。)

A. ファイルシステムを障害セットに割り当てる

B. 複数のノードからのデータアクセスを有効にする

C. 共有ファイルシステムのスナップショットを設定する

D. 共有ファイルシステムデータの重複排除

正解: B,C ([コメントを发表する](#))

PowerFlex File (NAS) は、ブロック機能を拡張してファイルレベルのアクセスをサポートします。

\* 複数のノードからのデータアクセスを有効にする オプション B) : 共有ファイルシステム (NAS) の基本的な目的は、複数のクライアント (LinuxはNFS経由、WindowsはSMB経由) がネットワーク経由で同じデータセットに同時にアクセスできるようにすることで

です。PowerFlex Fileは、この同時アクセスを可能にするエクスポートと共有を管理します。

\* 共有ファイルシステムのスナップショットを構成する オプション C) ブロックボリュームと同様に、PowerFlexファイルシステムはスナップショットをサポートしています。これらのファイルシステムレベルのスナップショットを使用すると、ユーザーは削除されたファイルを復元したり、管理者はファイルシステム全体を以前の時点にロールバックしたりできます。

誤った選択肢 :

\* 障害セットにファイルシステムを割り当てる A) : 障害セットは、物理的なSDSノードのブロック層構造です。ファイルシステムは、ブロック層によって提供されるストレージ上に存在する論理エンティティであり、障害セットに直接割り当てられるものではありません。

\* 共有ファイルシステムデータの重複排除 (D): 重複排除は、特定のファイルシステムに対して実行される管理アクションとしてではなく、基盤となるストレージプールレベル (インライン) で実行されます。

**質問: 58**

管理者がPowerFlexで共有ファイルシステムを設定したいと考えています。どのような手順を踏むべきでしょうか？

(2つ選択してください。)

- A. GUIを使用して共有ファイルシステムを作成します。
- B. ファイルシステムを保護ドメインに割り当てる
- C. 複数ノードのアクセス権限を設定する
- D. クラスタ内のすべてのノードとの互換性を検証する

正解: ([正解を表示します](#))

PowerFlex File (NAS) の設定には、論理ファイルシステムの作成と、クライアントがそれアクセスする方法の定義が含まれます。

\* GUI を使用して共有ファイルシステムを作成する (オプション A): 管理者は PowerFlex Manager (またはブロック UI) を使用して、名前、サイズ、容量を消費するストレージ プールなどのファイルシステムのプロパティを定義します。

\* マルチノードアクセス権限の設定 (オプション C) ファイルシステムが作成されても、「エクスポート」(NFS) または 「共有」 (SMB) されるまではアクセスできません。この手順では、管理者は、どのクライアント IP アドレスまたはサブネット (ノード) がファイルシステムをマウントできるか、また、読み取り専用権限または読み書き権限を持つかを定義するアクセス制御リスト (ACL) またはエクスポート ポリシーを設定する必要があります。

**質問: 59**

PowerFlexソフトウェア定義アーキテクチャの主な利点を2つ挙げてください。(2つ選択してください)

- A. テープバックアップを統合サポート
- B. 高い拡張性 (線形スケールアウト)
- C. 統合型災害復旧計画ツール
- D. データベースおよびミッションクリティカルなワークロード向けの高性能最適化

正解: ([正解を表示します](#))

PowerFlexは、高性能かつ大規模な環境向けに設計されています。

高い拡張性 (オプションB) PowerFlexはスケールアウトアーキテクチャを採用していません。従来のデュアルコントローラレイでは、容量を追加しても処理能力が向上しないことが多いのに対し、PowerFlexではx86ノードをクラスタに追加できます。各ノードはストレージ容量とI/O処理能力の両方を向上させます。これにより、線形的な拡張性が実現します。例えば、3ノードで10万IOPSを実現している場合、6ノードでは約20万IOPSとなり、数千ノードまで拡張可能です。

高性能 オプションD) PowerFlexはメッシュミラーリングと呼ばれるメカニズムを使用します。データを小さなチャンクに分割し、ストレージプール内のすべてのドライブに分散します。ホストがデータの読み書きを行う際、クラスタ内のすべてのノードのI/Oリソースを同時に使用します。

この並列処理によりボトルネックが解消されるため、高スループットのデータベース (Oracle RACやSQL Serverなど)や、ミリ秒以下の低遅延が求められるミッションクリティカルなアプリケーションに最適です。

#### 質問: 60

保護ドメイン内で実行できる操作はどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. 複数のストレージプールを作成する
- B. 耐障害性遵守状況の監視
- C. メタデータ管理のためのノードのグループ化
- D. ボリュームのスナップショットを自動的に有効にする

正解: **A,B** ([コメントを发表する](#))

複数のストレージプールを作成する (オプションA) : 保護ドメイン (PD)はノードのコンテナです。

そのコンテナ内では、複数のストレージ プール (例: "PD1\_Performance\_Pool" および PD1\_Capacity\_Pool)を使用して、同じサーバーグループ内でメディアの種類を分離します。

フォールトトレランス準拠状況の監視 (オプションB) PDはメッシュミラーリングの境界であるため、PDレベルで健全性と再構築状況を監視します。ノードに障害が発生した場合は、PDを監視して「再構築の進行状況」を確認し、フォールトトレランスが回復されていることを確認します。

#### 質問: 61

保護ドメイン内で実行できる操作はどれですか？ 2つ選択してください。)

- A. 複数のストレージプールを作成する
- B. 耐障害性遵守状況の監視
- C. メタデータ管理のためのノードのグループ化
- D. ボリュームのスナップショットを自動的に有効にする

正解: ([正解を表示します](#))

\* 複数のストレージ プールを作成する (オプション A): 保護ドメイン (PD) はノードのコンテナです。そのコンテナ内で、複数のストレージ プール (例: "PD1\_Performance\_Pool" および

PD1\_Capacity\_Pool)を使用して、同じサーバーグループ内でメディアの種類を分離します。

\* フォールトトレランス準拠の監視 (オプション B): PD はメッシュミラーリングの境界であるため、PD レベルで健全性と再構築ステータスを監視します。ノードが故障した場合、PD を監視して、

耐障害性を回復するために、「プロGRESSを再構築」してください。

誤ったオプション :ノードはストレージ (SDS) 用にグループ化されており、メタデータ管理 (C) 用ではありません。スナップショット (D) はボリュームで有効になっており、保護ドメインオブジェクト自体では有効になっていません。

有効的なD-PWF-OE-00問題集はJPNTTest.com提供され、D-PWF-OE-00試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新D-PWF-OE-00試験問題集を提供します。JPNTTest.com D-PWF-OE-00試験問題集はもう更新されました。ここでD-PWF-OE-00問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/D-PWF-OE-00-mondaishu> 105問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 62

フォールトセットを作成するための前提条件は何ですか？ 2つ選択してください。)

- A. クラスタ内に少なくとも3つのノードが必要です
- B. 事前定義された保護ドメイン
- C. 既存のストレージプール
- D. 重複排除を有効にする

正解: A,B (コメントを发表する)

障害セットは、保護ドメイン内の論理的な区分であり、可用性を向上させるために使用されます (たとえば、データの3つのコピーが3つの異なるラックに存在することを保証するなど)。

\* 事前定義された保護ドメイン (オプション B) : 障害セットは保護ドメイン内に存在しません。障害セットを独立した領域に作成することはできません。必ず親となる保護ドメインに割り当てる必要があります。

\* クラスタ内に少なくとも3つのノードが必要です (オプション A): PowerFlex はメッシュミラーリングアーキテクチャを採用しています。可用性を保証するために、システムは通常、最低3つの障害セットを必要とします (1つの障害セットが故障した場合、残りの2つの障害セットにデータを再構築するため)。障害セットには少なくとも1つのノードが含まれる必要があるため、この機能を効果的に利用するには、最低3つのノード (障害セットごとに1つ) が必要となります。

オプション C に関する注記: 通常、グリーンフィールド展開ではストレージプールを作成したり SDS を追加したりする前に障害セットを定義します。ストレージプールが既に存在する場合、障害セットへの変換は複雑で制限があるため、

既存のストレージプール」は、障害セット構造自体を作成するための前提条件ではありません。

有効的なD-PWF-OE-00問題集はJPNTest.com提供され、D-PWF-OE-00試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新D-PWF-OE-00試験問題集を提供します。JPNTest.com D-PWF-OE-00試験問題集はもう更新されました。ここでD-PWF-OE-00問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/D-PWF-OE-00-mondaishu> 105問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」